

2017年8月14日
東京発電株式会社

『深良川第一発電所』の営業運転再開について

このたび、東京発電株式会社(本店:東京都台東区 代表取締役社長:坂本^{さかもと} 邦隆^{くにたか})は、2016年6月に静岡県裾野市深良の『深良川第一発電所(1922年11月運転開始)』のリパワリング工事に着工し、2017年8月13日に営業運転を再開いたしました。

これにより当社が保有する76箇所の水力発電所の総出力は、186,672kWとなります。

深良川第一発電所は、一級河川狩野川水系深良川より毎秒1.67m³を取水し、約260mの落差を利用して最大3,100kWを発電しておりました。

この度、「水車発電機」「制御装置」「変電設備」「水圧管路の一部」「発電所建物」を取替えるリパワリング工事を行い、発電所最大出力は3,100kWから3,700kWに増出力を図るとともに、機器レイアウトの工夫による損失の低減や高効率運転を指向した水車制御とすることで、年間発生電力量をリパワリング前より増加することができました。

さらに、軸受に新技術を採用して冷却装置を省略するなどシンプルな機器構成とし、保守性向上とランニングコストの低減も合わせて実現しております。

発電に使用した水は深良川下流に灌漑用水として供給されるため、水車の構造や水圧鉄管からの放流方法に工夫を施したことで、緊急的に発電所が停止した際にも貴重な地域の用水が途切れることの無いよう配慮いたしました。

深良川第一発電所は、まもなく運転開始から95年となり、「水車発電機等」の老朽設備を更新し、新たなスタートを切ると共に、既存の「水路設備等」については今後更なるメンテナンスを行うことで、長期に亘り安定運転を継続してまいります。

今回のリパワリング工事により、当社が保有する水力発電所の総出力は、186,672kWとなります。なお、同発電所で発生した電気は、再生可能エネルギー固定価格買取制度により売電いたします。

当社は、引き続き地域社会と協調し、再生可能エネルギーの普及拡大とともに低廉で安定した電力の供給に努めてまいります。

【発電所概要】

- (1) 最大出力：3,700(kW)
- (2) 水車：横軸ペルトン水車
- (3) 発電電力量：年間約2,000万(kWh)
(一般家庭約6,700軒分の年間使用電力量に相当)
- (4) 発電所位置：静岡県裾野市深良

【問い合わせ先】

東京発電株式会社水力事業部事業総括グループ 根本 Tel03-6371-5159
東京発電株式会社ホームページ：<http://www.tgn.or.jp/teg/>

【プレスリリース】

リパワリング前



リパワリング後



水車発電機

リパワリング前



リパワリング後



発電所建物